

徳之島事務所（令和5年10月分）管内情勢

農林水産業関連

1 ピタヤの栽培面積拡大に向けて情報交換

10月17日に徳之島町及び天城町の3ほ場でピタヤの現地検討会を実施し、農業者・関係機関等15人が参加した。

当地域ではピタヤの栽培面積拡大を目指しており、4人の新規栽培者も参加し、成木園と幼木園を巡回した。

会の中で、ピタヤ栽培において問題となっている病虫害や現在取り組んでいる対策、施肥試験の状況などについて情報交換を行った。

農業普及課では関係機関と連携し、ピタヤの単収向上及び栽培面積拡大に向けて支援する。



2 沖永良部島畑かんマイスターと意見交換

10月4日に沖永良部島から畑かんマイスターが来島し、徳之島畑かんマイスター展示ほの現地検討や意見交換会に29人が参加した。

ピタヤ、アボカド、かぼちゃ、しょうが、さつまいも、トランスバーラの展示ほで、各々マイスターが栽培方法や管理の要点について説明を行い、意見交換会では、両島の畑かん営農推進の状況について情報提供が行われ、積極的な水利用の周知について、マイスターが水を使って儲ける姿を見せなければという意見が出された。



3 さとうきびの生産振興に向け、さとうきび勉強会を開催

9月27日に徳之島さとうきび生産対策本部が主催する「徳之島さとうきび勉強会」が徳之島町で開催され、さとうきびの農家代表と関係機関約50人が参加した。

会では、はじめに徳之島のさとうきび生産状況と南西糖業の操業状況の現状と課題について発表が行われた。意見交換では、生産量の確保と農家の規模拡大等の課題解決に向け、前向きな意見が多く出された。

徳之島農業の基幹作物であるさとうきびのより一層の振興に向け、関係者一丸となって取り組んでいきたい。

